

本年度の重点目標

- 将来を見つめ、意欲をもって学習に取り組む生徒を育成する。
 - ・ しっかりと話を聴き、ノートにまとめることができる 85%以上
 - ・ 学習課題を確実に提出することができる 85%以上
- 思いやりの心を育み、互いに認め合い、共に生活の向上を目指す生徒を育成する。
 - ・ はっきりと挨拶や返事ができる 90%以上
 - ・ 自ら進んで清掃をすることができる 90%以上
 - ・ 自ら進んで生徒会活動に参加することができる 90%以上

前年度

前年度末評価 (全校生徒の自己評価)

- ・ しっかりと話を聴き、ノートを取ることができる 96%
- ・ 課題を確実に出すことができる 79%
- ・ はっきりと挨拶や返事ができる 95%
- ・ 進んで清掃をすることができる 95%
- ・ 意欲的に生徒会活動に参加することができる 87%

前年度末評価では、「しっかりと話を聴き、ノートを取ることができた」と回答した生徒は、96%と目標値を大きく上回った。授業導入時に、学習課題と授業ゴールを明示し、生徒自身に1時間の授業の見通しをもたせる等の具体的な行動目標を示し、授業展開を行った結果だと考える。また、「挨拶」、「清掃」については数値目標を達成しているが、今後も生徒一人一人の自主性と協力性を身に付け、達成感とともに協力してできた喜びを味わわせることができるよう、継続して師弟同行で取り組んでいきたいと考える。

「課題の提出」に関しては、教師の啓発や指導を引き続き行い、家庭と連携し家庭学習の習慣化に努めたいと考える。また、「生徒会活動への参加」は、自ら進んで活動に参加できるように、積極的に情報を発信を行う等、生徒会活動の充実・発展を図りたい。

行動 I

・ 学習意欲の向上

- ① 先生や友達の話をしっかりと聴き、ノートにまとめるよう指導することで、生徒が授業に集中できるようにする。
- ② 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るため、授業の工夫改善を行う。
- ③ 授業への集中力を高めたり、家庭と連携し、家庭学習の習慣化に取り組ませたりすることで、課題を確実に提出できるようにする。

・ 学校生活の向上

- 師弟同行を基本とし、
- ① はっきりと挨拶や返事ができるよう、一人一人への言葉かけを大切にし、生徒と教師の信頼関係を深める。
 - ② 分担と方法を明確にし、自ら進んで一杯清掃に取り組みさせる。
 - ③ 生徒会活動や部活動等の集団活動に目標をもって取り組みませ、達成感や充実感とともに自己有用感を味わわせる機会とする。

中間評価

中間評価 … 教職員、生徒、保護者対象

- ・ 学校評価から、該当する評価項目を選び、それぞれのアクションについて自己評価を実施する。
- ・ 評価結果を学校だより、HP等で掲載するとともに、学校評議員に報告し意見を求める。

- ・ 職員会議等で調査結果を検討し、今後の取組について共通理解を図る。

行動 II

・ 学習意欲の向上

- ①②は継続
- ③ 課題と授業が結び付く授業内容と授業展開となるよう授業改善に努める。

・ 学校生活の向上

- ①②は継続
- ③ 発表や話し合いの機会を工夫し、互いに認め合い、支え合う人間関係づくりに努める。

年度末評価

年度末評価 … 教職員、生徒、保護者対象

- ・ しっかりと話を聴き、ノートにまとめることができる 85%以上
- ・ 学習課題を確実に提出することができる 85%以上
- ・ はっきりと挨拶や返事ができる 90%以上
- ・ 自ら進んで清掃をすることができる 90%以上
- ・ 自ら進んで生徒会活動に参加することができる 90%以上

- 評価結果を学校だより、HP等で掲載するとともに、学校評議員に報告し意見を求める。

次年度

- ・ 職員会議等で、1年間で達成されたことと今後の課題について共通理解を図る。

学校評議員等の意見も参考にしながら、学習の習慣化が学ぶ意欲の向上につながったか、共に生活の向上を目指して挨拶や清掃、集団活動を実践することが、生徒の学校への愛着、社会性の育成につながったかについて検証し、次年度の行動計画を作成する。